

ごあいさつ



福井県言語聴覚士会 会長

けんもく はやと
見目 隼人

～ トゥモローズリハビリテーショングループ代表 ～

これから地域包括ケアに挑む時代となります。

我々言語聴覚士も専門職能として対応力を高めるべく、機能体系を再編しなければならない時が迫りつつあります。具体的には、在宅復帰の加速的な推進と医療の分化・強化・連携、これらが地域包括ケアシステムに求められているリハビリテーション職能の今後の基本方針です。

リハビリテーションのプロセスと効果についてコンセンサスを示す事が求められている大切な時期です。福井の地域や現場の特徴に応じた形で連携体制を強化する事、定期的な教育と地域間でのコミュニケーションフォローを実施できる環境を作ることが、先ずの目標であります。

言語聴覚士が地域住民によりいっそう貢献できるように、そしてまた医療、介護、福祉それぞれの現場に従事している言語聴覚士の仕事環境を安定させるために、微力ながら尽力させていただきたいと考えています。

2016年4月